# 第37回人にやさしいまちづくり推進協議会（質問）

| 質問内容 | 事業者の見解 |
| --- | --- |
| ・資料１についての質問<br>①5ページ立面図の屋上に見える二重線の壁の様な物は、屋上フェンスですか。 | 屋上利用スペースに設置する防球ネットとそれを張るための鉄骨の柱になります。 |
| ・資料１についての質問<br>②立面図からでは良く分からないのですが、脱出用非常階段は設置される使用ですか。 | 屋外階段の設置はございません。屋内階段４か所からそれぞれ避難する計画です。 |
| ・資料１についての質問<br>③計画物件は暫定の仮校舎ですが、騒音？対策はどの様になっていますか。例えば音楽の時間やチャイム音が近隣に与える影響は。 | 音楽室は防音仕様とし、チャイムは校内のみに放送されるようにし、近隣への騒音とならないよう配慮します。 |

# 第37回人にやさしいまちづくり推進協議会（質問）

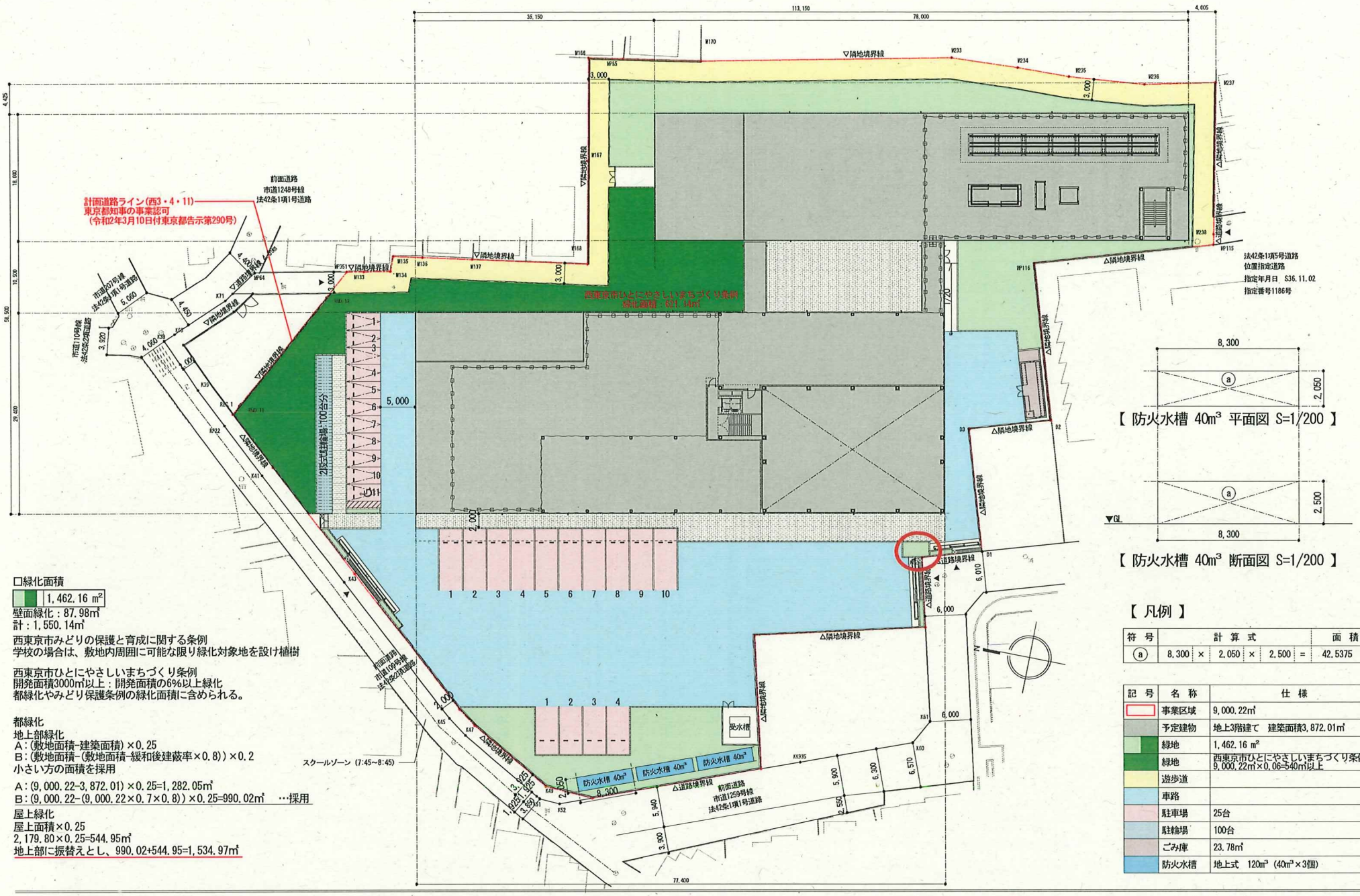
| 質問内容 | 事業者の見解 |
| --- | --- |
| ・資料１についての質問<br>④平面図は会議当日配布と聞いておりますが、給食設備は併設ですか、それとも外部からの提供ですか。併設するなら防火設備はどの様になる予定ですか。 | 給食設備は併設です。防火設備はスプリンクラー及び特定防火設備（ステンレスシャッター）を設置する計画です。 |
| ・資料１についての質問<br>⑤7ページで、指導109号から出入口が計画されていますが、どの様な門扉を予定されていますか。休日・夜間の侵入対策はどの様に考えられておりますか。 | スタックラインを予定しております。休日・夜間は防犯カメラによる監視とともに機械警備を予定しております。 |

# 第37回人にやさしいまちづくり推進協議会（質問）

| 質問内容 | 事業者の見解 |
| --- | --- |
| ・資料２についての質問<br>①建設計画説明会資料に（9）スクールバス想定経路が提示されていますが、マルエツ、マツモトキヨシ側の道路からの進入は右折ですか、左折ですか。<br>小型バス想定経路はT字になっており、経路の全体図が良く分かりません。<br>中型バスの経路も同様ですので、もう少し広域を表示して頂きたく、ご検討下さい。 | スクールバス委託業者との調整になり、現時点では決まっておりません。<br>小型スクールバス想定経路は横山道の東側からの進入と西側からの進入の２パターンの可能性があるため、両方を記載しております。<br>経路の全体図につきましては、仮設校舎移転時の在席児童生徒の居住地を踏まえたスクールバス委託業者との調整になり、現時点でお示しすることは難しいです。 |
| 現地を見に行ったところ、この付近は災害時における「ひなん広場」との看板がありましたが、今回の計画地にその機能があるのでしょうか。また、機能があるとしたら、校舎建設により「ひなん広場」ではなくなるのでしょうか。さらに、「ひなん広場」の機能は他に移転されるのでしょうか。 | 「ひなん広場」は住吉小学校と認識しております。<br>今回計画地には引き続きそういった機能はございません。 |
| 資料２の10ページにシンボルツリーのようになっているイチョウの木があり、この木は残す方針との記載がありますが、それば、敷地のどの部分でしょうか。歩道となっている部分にある木ならば、歩行の安全との関連が気になります。 | 別添図面の赤丸の箇所です。 |

# 第37回人にやさしいまちづくり推進協議会（質問）

| 質問内容 | 事業者の見解 |
| --- | --- |
| 上記の質問と関連して、現在歩道となっている部分は残す方針とのことですが、ガードレールは設置されるのでしょうか。 | ガードレールの新設は現時点においては予定しておりません。 |
| マルエツ交差点（保谷志木線と横山道の交差点）付近の交通量が多いため、渋滞が気になりますが、バスは左折で入ってくるのでしょうか、右折ではいってくるのでしょうか。 | スクールバス委託業者との調整になり、現時点では決まっておりません。 |
| 駐車場は25台分とのことですが、うち14台はバス用です。職員用及び来賓用等としては11台分となりますが、足りるのでしょうか。（現在の学校の普通車用駐車場が何台あるのでしょうか） | 教職員の車利用はございません。普通車用駐車場は主に放課後等デイサービスなど事業者の一時駐車での利用を想定しており、スクールバス撤収後のスクールバス駐車場も併せて利用することから不足はございません。<br>現在の学校に普通車用駐車場はございません（スクールバス駐車場と兼用）。 |




【 防火水槽 40m³ 平面図 S=1/200 】




【 防火水槽 40m³ 断面図 S=1/200 】




□緑化面積

1,462.16 ㎡

壁面緑化：87.98㎡

計：1,550.14㎡

西東京市みどりの保護と育成に関する条例
学校の場合は、敷地内周囲に可能な限り緑化対象地を設け植樹

西東京市ひとにやさしいまちづくり条例
開発面積3000㎡以上：開発面積の6%以上緑化
都緑化やみどり保護条例の緑化面積に含められる。

都緑化
地上部緑化
A：(敷地面積-建築面積)×0.25
B：(敷地面積-(敷地面積-緩和後建蔽率×0.8))×0.2
小さい方の面積を採用

A：(9,000.22-3,872.01)×0.25=1,282.05㎡
B：(9,000.22-(9,000.22×0.7×0.8))×0.25=990.02㎡ …採用

屋上緑化
屋上面積×0.25
2,179.80×0.25=544.95㎡
地上部に振替えとし、990.02+544.95=1,534.97㎡

【 凡例 】

| 符号 | 計算式 | | | | 面積 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⓐ | 8,300 | × | 2,050 | × 2,500 = | 42.5375 ㎡ |

| 記号 | 名称 | 仕様 |
|---|---|---|
| | 事業区域 | 9,000.22㎡ |
| | 予定建物 | 地上3階建て 建築面積3,872.01㎡ |
| | 緑地 | 1,462.16 ㎡ |
| | 緑地 | 西東京市ひとにやさしいまちづくり条例 9,000.22㎡×0.06=540㎡以上 |
| | 遊歩道 | |
| | 車路 | |
| | 駐車場 | 25台 |
| | 駐輪場 | 100台 |
| | ごみ庫 | 23.78㎡ |
| | 防火水槽 | 地上式 120m³ (40m³×3個) |

| 株式会社 平安設計 HEIAN Architectural Plannners Inc. | 都立石神井特別支援学校(7)仮設校舎建設工事基本設計 | 土地利用構想図 | SCALE: 1/500 | 07 |
|---|---|---|---|---|

# 第37回人にやさしいまちづくり推進協議会（意見）

| 内容 |
| --- |
| 敷地内の木の多くが切られてしまうことへの不安や、イチョウの木の保存、工事前の敷地開放などの要望が見受けられました。<br>条例でも緑の保全や樹木の保存が定められていますので、「緑化に配慮」という抽象的な表現だけでなく、地域への配慮を具体的に検討・説明することを加えてはいかがでしょうか。 |
| 朝の混雑時にスクールバス（約14台）が集中することによる渋滞や、近くの小・中・高校生の通学路（マルエツ前交差点等）での事故が心配されていますので、工事中の車両対策だけでなく、仮設校舎の運用開始後も、交通誘導員の配置などの児童生徒や周辺住民の安全対策を具体的に講じることを明記してはいかがでしょうか。 |
| 「土地利用構想に対する指導及び助言について【原案】」の（指導及び助言の内容）３，５につきます。<br>高校、小学校、高齢者・児童幼児複合施設、宗教施設、商業施設が周辺に存在する住宅地の中で仮校舎設置工事を行い、数年間通学することになるため、交通面への配慮が1番と考えます。<br>この土地では、以前に小平福祉園の仮設施設が設置されたことがあると思います。その時より規模が大きくなると考えられる ため、 交通面に対する配慮を求めます 。 |

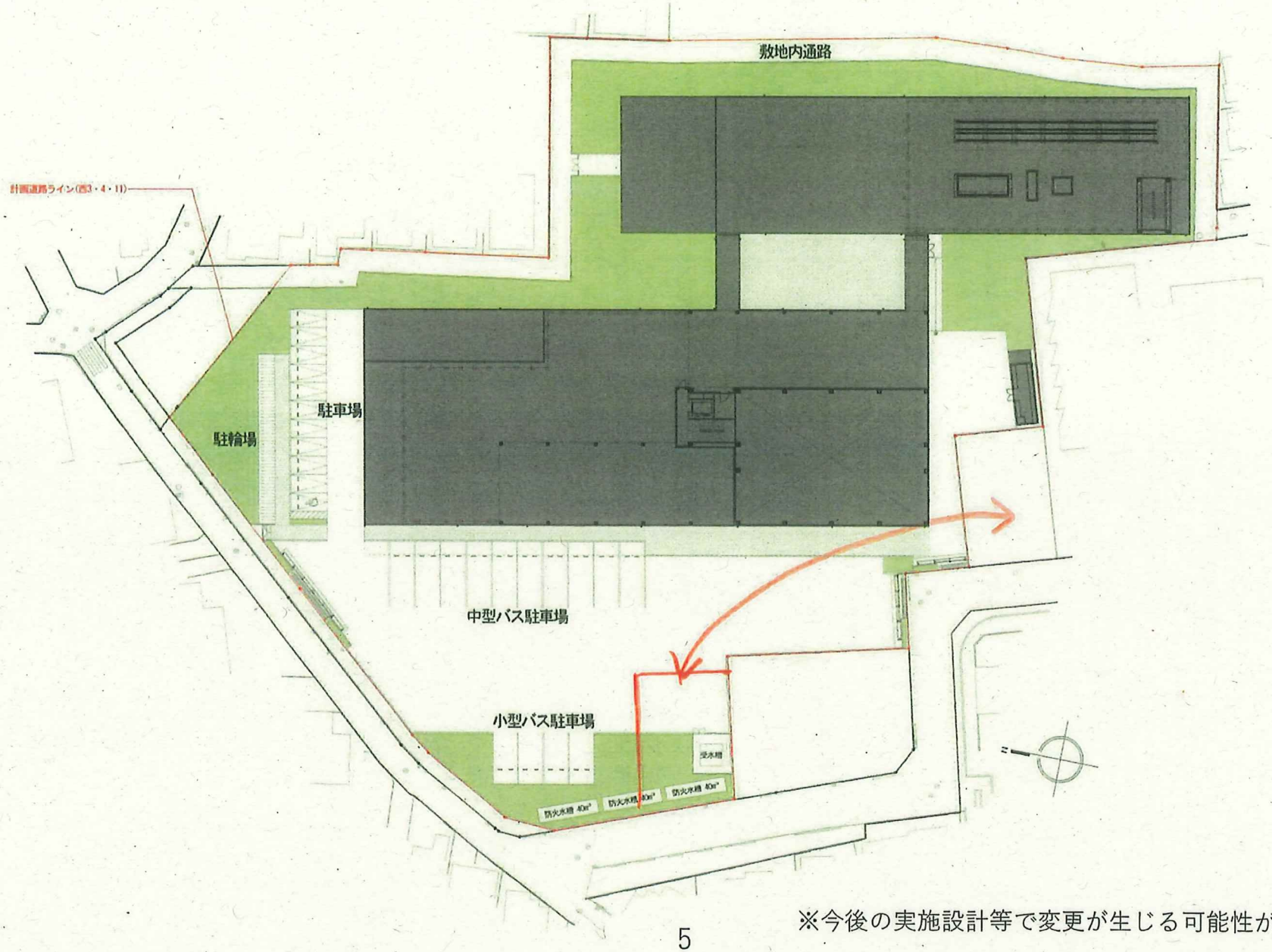
# 第37回人にやさしいまちづくり推進協議会（意見）

| 内容 |
| --- |
| ・資料１についての意見<br>①計画地周りの道路上の安全確保について<br>・市道109号線はスクールゾーンに設定されていますが、市道1259号線も仮設校舎稼働に合わせてスクールゾーン化を検討する必要がある様に考えます。<br>・住民説明会でも要望されていますが、計画地周辺の夜間照明は不安を感じるレベルなので、薄暮時間移行の治安維持、安全確保を万全に講じて頂きたい。<br>・市道109号、同110号、同207号、同1248号が交差する十字路は、視界が悪く、道路幅も極狭でありながら、歩行者・自転車・クルマがひっきりなしに通っており、かなり不安を強く感じます。計画地側にもカーブミラーを設置したり、夜間照明を強化するなどの対策が必要ではないでしょうか。 |
| ・資料１についての意見<br>②今回の計画では令和17年に、本校舎完成後、「解体」となる予定ですが、解体後の敷地の活用計画はありますか。又、僅か5年の仮設校舎運用後に解体するのは、もったいない様に感じますが。 |
| 当該施設用地も進入路も整備されており、問題点は少ないと思われるが、「ルピナス」方向から用地へのバスの進入路についての意見ですが、出入口の両側に「ルピナス」の駐車場があるが、第２駐車場（小さい方）を、第３駐車場（大きい方）に接続した形に換地移設が可能ならば、バスの出入口が広く確保出来るのではないかと考えます。これにより通学時の解消に役に立つのではないか。<br>相手方の意向もあるので難しいと思うが、相手方も駐車場が広く一体的に使えると思う。また、公的機関同士のため、協力が得やすいかとも思いますが。（参考図あり） |

# 第37回人にやさしいまちづくり推進協議会（意見）

| 内容 |
| --- |
| スクールバスについて、都側は、「中型バス10台、小型バス４台、計14台を使用する」と説明している（説明会議事録P.4 ）。私は、都立小平特別支援学校のスクールバスをひばりが丘団地前を通る道路で時折見かけるが、当該バスは、路線バス（西武バスなど）とほぼ同程度の大きさであり、都立石神井特別支援学校のものも同程度の大きさと思われる。<br>スクールバスの想定経路について、図面がないので、断定できないが、マルエツ前の交差点から住吉会館や東京若枝教会にかけての道路を建設予定地までスムースにスクールバスが通行できるか、また、仮にできるにしても交通渋滞が多発する<br>ことが懸念される。<br>スクールバスの敷地への進入路の図面がなく、口頭説明だけのため、具体的なイメージがつかめず近隣住民の不安につながっていると思われる。また、近隣住民だけでなく、住吉会館の利用者（自転車を利用している母子や高齢者が多い）の安全面が気になる。 |

# （4）計画配置図




※今後の実施設計等で変更が生じる可能性がございます。